

2019.9.12(木)
第10回例会
(通算 3563回)

2019-2020年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「CONNECT！ロータリーをよく知って より大きい輪をつくらう！」

第83代会長	天方 智順	例会日	毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
副会長	後藤 公貴	例会場	釧路センチュリーキャッスルホテル
幹事	松井 聖治	事務局	釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
編集責任者	クラブ会報雑誌委員会	☎	0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2019-2020年度
国際ロータリーテーマ



2019-2020年度 RI 会長
マーク・ダニエル・マロニー

第2500地区ガバナー
吉田 潤司 (釧路 RC)

月間テーマ	基本的教育と識字率向上月間
本日のプログラム	全道中学親善硬式野球大会・RYLA セミナー報告会 (担当: 青少年委員会)
次週例会	地区大会打ち合わせ例会 (担当: 地区大会実行委員会)

- ロータリーソング: 「四つのテスト」
- ソングリーダー: 青木 泰憲君
- 会員数 100名
- ビジター なし
- ゲスト 釧路リトルシニア球団 連盟理事 中山 浩治様
// 監督 橋 幸司様
タカオ工業株式会社 工藤 耕大様
釧路信用金庫 黒津 飛鳥様

■ニコニコ献金

大道 光肇君・・・先般のリトルシニア釧路大会、大変お世話になりました。お陰様で、優勝することが出来ました。

池田 優君・・・ライラセミナーに行ってきました。

杉山 宏司君・・・北海道日本ハムの野球教室が無事に終わりました。

後藤 公貴君・・・今日は釧路すえひろはしご酒大会。皆様のご来場をお待ちしております。

今年度累計 134,000円

会長の時間 天方 智順会長

皆さんこんにちは。年度当初に皆さんはお目にしたかと思うのですが「年間活動計画書」という毎年の冊子がございます。その中で毎年こういう記述があります。「メンバーの平均年齢はだいたい58歳～59



歳です」。平均年齢ということ言えば、私は平均年齢より少し下で随分若いと思っていたら、世の中のウケには全然違って、だいぶ古い世代に

なってきたと思うことがありました。何人かのメンバーには言ったことがあるかと思うのですが、この度、ずっと通っていたDVDなどのレンタル店が閉店されました。家から近くでずっと利用

していましたが、そこがなくなると遠くまで車を走らせてビデオやCDを借りに行かなければいけなくなります。「随分不便だよ」と言っていたら、やっぱり若い世代は違うんですね。ネット配信型の媒体で、ビデオやCD、音楽もそのようになっていっているそうです。プラス、いろいろなところで情報を集めますと、レンタル店が経営するネットのレンタルもあるそうで、今後はそちらの方を利用しようかと思っております。

昔、当たり前であったことが段々となくなる時代になっています。そして、新しい価値観も出てきています。今日野球関係者の方がいらっしゃいますけれど、昔、よく見ていた巨人戦なんて放映がないですよ。いつの間にか地上波の放送がなくなるような、そういう時代を迎えております。だいぶ価値観も変わるのかと。

先週の講師もおっしゃっていましたが、広告も

テレビ・ラジオよりもネットの方の広告が多いということで、世の中も急速に変わってきていると思います。その中で、変わるものは変わって、変わらないものは変わらないのがロータリーでございます。今年もリトルシニア、全道中学硬式野球大会とライラセミナーを変わらず開催しています。来年もあると思います。皆さんのご理解が深まることを祈念いたします。以上、どうぞよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■
全道中学親善硬式野球大会・RYLA セミナー報告会

青少年奉仕委員会 池田 優委員長

青少年奉仕委員会の池田でございます。本日は、最初に7月27～28日に開催されました『全道中学親善硬式野球大会』の10～15分程度だと思っておりますがDVDをご覧いただきたいと思っております。その後、釧路リトルシニア球団監督・橘様からのご報告をお願いいたしております。そして最後に、8月31日・9月1日に旭川で開催されました『ライラセミナー』に参加されました釧路信金の黒津様、タカオ工業の工藤様、体験報告をお願いいたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。それでは、最初にDVDをご覧いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(全道中学親善硬式野球大会DVD鑑賞)

釧路リトルシニア球団監督 橘 幸司様

皆さん、こんにちは。只今ご紹介いただきました監督の橘と申します。よろしくお願いいたします。



今年も釧路ロータリークラブの皆様をはじめ釧路軟式野球連盟様、ほか関係の皆様のご協力の下、晴天の中『全道中学親善硬式野球大会』が開催できたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

例年であれば、夏休みの終わり頃、8月20日前後の日程で行っていたのですが、リトルシニア北海道連盟の大会との日程を調整し、今回は夏休みの初め7月の最終週末で大会を行いました。会場も皆様のご協力により釧路工業高校・武修館高校をお借りすることができ、申し分ない会場で試合をすることができました。日曜日はかなり気温も上がり、旭川のチームからも「今日なら旭川より暑く感じるね」というような気候で試合を実施できました。結果、優勝が釧路、準優勝が札

幌真駒内、3位が十勝帯広・旭川西でした。

今年の釧路リトルシニア、わが球団ですが、戦力的にはそれなりの戦力作りができたのですが、連盟の大会ではなかなか思うような結果を出せずにいましたが、この大会で優勝することができ、3年生にとっては大変素晴らしい経験をさせていただくことができました。

地元で行う試合は、持っている力を発揮することができますし、なにか勝てる後押しがあるようなことを強く感じることができました。

現在の釧路リトルシニアは、3年生10名が引退し、1・2年生20名で活動しております。なかなか札幌圏のチームに勝つことは難しいのですが、なんとか一矢報いようと思い日々練習に取り組んでおります。これからも応援をしていただければありがたいと思っております。

また、釧路リトルシニア球団OBの埼玉西武ライオンズの佐藤龍世君が先日釧路市民球場に凱旋し、出場機会はわずかでしたが、一軍に帯同しがんばっております。皆様が応援している北海道日本ハムファイターズではありませんが、重ねて応援をしていただければと思います。

最後になりますが、例年参加していただいている日高リトルシニアさんも、今回は全国大会出場のため参加ができなかったのですが、「ぜひ来年は行かせてくれ」と言っていたいております。どのチームからも「楽しい大会なのでぜひ参加したい」と言っていたいておりますので、ロータリークラブの皆様のご理解ご支援をいただき今後も継続して本大会を開催していただけますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

『ライラセミナー報告会』

釧路信用金庫 黒津 飛鳥 様



皆さん、こんにちは。釧路信用金庫の黒津と申します。この度、ライラセミナーに参加させていただきましたので、そのご報告をさせていただきます。

今回のライラセミナーでは、「地域の活性化を考える」というテーマの下、同世代の様々な業種の参加者と意見交換をしてみました。セミナーでは、大きく2つ、「基調講演」と「グループワーク」という形で取り組みが行われました。

まず、基調講演の方では、旭山動物園の園長である板東様より一躍「全国区」となった道程や取り組みな

どのお話しをしていただきました。その中で、私が特に興味深かった話が2つございました。1つは、来園者は短い時間であまり動かない動物の姿しか見ないことで「つまらなく感じて、飽きてしまう」ことが以前はあったそうなのですが、全く同じ時期に接していた動物園のスタッフさんは「長時間動物と接し、いろいろな姿を見ることができると毎日面白くて飽きが来ない」と感じていたという話がありまして、それが有名になる行動展示のキッカケだったというお話がございました。

もう1つが、来園者が200～300万人を超えていた時期というのは、回りから見ると成功していたように見えたというのですが、動物園のスタッフ当事者としては、受け入れられるキャパシティをオーバーしていたことがあり、自分達は成功したとは感じていなかったというお話がございました。

その後、グループごとに地域の活性化についてディスカッションを行い、課題と解決策を議論して行きました。その中で、自分が住む地域についての「良い点・悪い点」をひとりひとりが意見を出していったのですが、ほとんどの参加者は、悪い点についてはいくつも挙げられる状況があったのですけれども、良い点については、悪い点を超えるほど多く挙げられる参加者はおりませんでした。地域の良い点・悪い点を挙げた参加者は、悪い点の方が多く出てきてしまったというような状況でございました。

また、地域の特徴について、その地域に住んでいる人よりも別の地域に住んでいる人の方が詳しくたり、良いことを知っているような方が多くいらっしゃいまして、自分が住む地域についてももっともっと知るべきこと、学ぶべきことがたくさんあると実感いたしました。

地域の特徴で同じものであっても、良い点と感じている参加者もいれば、悪い点と感じている参加者もいらっしゃって、ひとつのものを様々な見方をすることができ、マイナスと感じるようなことも見方を変え、考え方を換えればプラスにすることができるのではないかと感じさせられる機会でした。

この見方を変える。考え方を変えることは、旭山動物園での行動展示を始めるキッカケになったエピソードにもつながる考え方であると感じ、地域の活性化でも重要なポイントだと感じました。

私たちのグループは、地域を活性化させるには地域に住む自分たちがその地域の良さを知ることがスタートラインだと考え、お金をかけることなく、ひとりひとりの意識を変えるだけでできる取り組みだという結論に達しました。

セミナー開始当初は、地域の活性化というテーマは1人ではどうしてもできない大きなテーマだと感じておりましたが、板東園長による基調講演やグループ

ディスカッションをとおして課題について真剣に向き合うこと、ひとりひとりの意識を少しだけでも変えることで、地域が抱える課題を少しずつ改善していくことが可能になるのではないかと思うようになりました。

これからは、自分が住む地域に誇りが持てるように、釧路・道東地域について知識を深めより多くの良さを見つけていきたいと感じております。

この度は、このような貴重な経験をさせていただきましてありがとうございました。以上になります。

タカオ工業株式会社 工藤 耕大様

この度、ロータリーに参加させていただきましたタカオ工業のくどうです。よろしくお願ひします。



まず、はじめに旭山動物園のお話

しを聞かせていただきました。旭山動物園・園長の話聞いてとても感動しました。今までにないことをするというはとても勇気があることだと思いますし、なかなかできることではないと思います。私は、建築関係の仕事をしているのですが、とても似ていると思ひました。

お客さんの要望を聞いて、みんなそれぞれ違う作業をしていても、ひとつの目標に向けてお客さんの要望以上の質のものを作り上げるところと、動物園に来たお客さんの声や希望に耳を傾け、お客さんの知りたこと、それから先のことをみんなに分かりやすく伝えるところはとても共感できました。

そのあと、グループになったの話し合いは、私にとって生まれて初めての経験でした。それぞれが思ったことを言い合い、意見を出していくところを見てとてもたくさんのが学べました。自分の意見をハッキリ言うことは、仕事でもなにごとにおいてもとても大事なことだと思うし、それができるとできないのでは大きな差があると実感しました。

この貴重な体験を活かしてこれからもがんばっていきたく思ひます。

ありがとうございました。

青少年奉仕委員会 池田 優委員長

工藤様、どうもありがとうございました。

私から最後に一言、今日出席していただいております。釧路リトルシニアの中山理事がいなかったら恐らくこの野球大会の事業は開催できないだろうと思ひます。

本当に先ほど天方会長からもお話がございました、変えてはいけないこと、変えて良いことという

ころをこの野球大会をずっと続けて行けたら良いと思いますので、参加されました皆様方ご協力いただいた皆様方にこの場をもって感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。以上でございます。

[Return
to
Top](#)

[Return
to
Web Site](#)